

表 情 遊 戯

土 川 五 郎

○ 牛 若 丸

圓形を作り圓心に向く。

京の 兩手を體前(胸の上部の邊)に持來り直ちに  
左右兩側下に開く。

五條の 下げたる兩手の上膊を兩側より上に掌を  
向き合せ肩の高さに上ぐ。

橋の上 兩手を腰に足踏三回。

大の 右手にて薙刀を小脇にかひ込む如くす。

男の 左手の拳を握りて張る。

辨慶が 左足をやゝ左へ次に右足を右へ開き幼兒  
は辨慶となりすます。

長い 左手にて右にかひ込める薙刀の柄を握る  
(右手にて持てる所より更に前方を握る)。

なぎなた 右手を以て更に(左手にて握りたる所  
より先きの所)左手の前を握る。

ふり上げて 薙刀を右上に振り上ぐ。

牛若めがけて 左足より踏出て前へ三步上體を稍

右向きにす。

切りかゝる 右上より左下へ薙刀を振り下ぐ。

牛若丸は 四歩後退す。

飛びのいて 一回跳躍す。

持った扇を 右手を右後方より(扇を持てる如く  
して)右上にあぐ。

投げつけて 扇を投ぐる様をなす。

こいこいこいこらんかんの 右手にて招く如く  
す。

上へ 右足を右へ一步すると同時に兩手を左右に  
開く(掌を下に)。

あがつて 左足を右足につくると同時に兩手を下  
ぐ。

手をたゝく 拍手三回。

前や 左足一步前に上體をやゝ前に傾けて右食指  
にて前下方を指す。

うしろや 兩かゝとをあげ兩つま先にて右回轉して後ろを向き後下方を指す。

右 前に向くと同時に右下方を指す。

左 左足を引き右足をそろへ右食指にて左下方を指す。

こゝと思へば 左へ一步同時に左下を指す。

又あちら 右へ一步同時に右下を指す。

つはめの様な 兩手を開き羽ばたきしつゝ一回轉

## 翫物の教育(二)

現今の教育は、國家も教師も研究には些の遺漏なく、又、あらゆる努力をして居るのであるが、實際の成績はとすると、それに報ふるには餘りに貧弱である。而して、若しも教育が、此方向其まゝでは、幾ら進んでも、幾ら足掻いても、彼岸を見ることは到底出来ないやうな氣がする。そして現在の形式法はもう行詰りである。外面法より内面法に移らなければならぬ破目に陥つてゐるのである。即ち我、大

す。

早業に 兩手を拱ぬきて蹲踞し頭を左へ傾け右上を見る。

鬼の辨慶 直立し兩拳を握り體の兩側より少しく離して張る。

あやまつた 兩手を少し前へ上體を屈して再び正位に復す。

大日本翫物教育協會

久門 嘉裕

日本翫物教育協會は、翫物による、内面的、外面的徹底法の宣傳を使命とするのである。けれども、何も新説でも獨創でもなく、又面倒臭いむづかしい、言ふは易く行ふは難しといふやうなものでない。要は讀んで字の如く、翫物で教育しようといふのである。從來とても、學校に於ても、翫具は盛に用ひられて居るのであるが、其取扱は子供の翫物本能とは、全くかけはなれて、堅苦しい教具といふ資格になつ